

市政発展の基礎固め

議会の活性化を

新年のご挨拶



中澤愛水議長

平成二十年の年頭に当たり、市議会を代表し、謹んでご挨拶を申し上げます。皆様方には、希望にあふれた新春をお迎えになられたことと、心からお喜び申し上げます。合併後三年目を迎えた本年は引き続き、市政発展の基礎固めの大変重要な年であります。特に、地方分権の進む中で、地域間格差が問題となつて参りました。昨年の参議院議員選挙にも

如実に現れております。香美市議会としても住民の代表機関として、広い地域の調和のある発展に意を配するなど、新しいまちづくりや自治体の最終意思決定への役割と責任は格段に重くなつてきたと考えます。

議会の本来的機能である立法的機能、議決機能、監視・監督機能を発揮するため、より議会を活性化し、市民の理解を得ながら、存在感のある議会へと改革していかなければなりません。行財政改革や自主財源の確保、定住人口の増加等課題も山積しておりますが、農林業、伝統産業・地場産業等の振興と就労場の確保など、さら



子ども議会

に調和のとれた住民参加のまちづくりが不可欠です。行政のもつ情報の公開と、民主的で公正で自治と参加と心の通う行政を進めていくことが極めて重要です。当議会も政策形成過

程や政策の実施過程に多面的に参画し、重要な意思決定の機能を發揮するとともに議決した政策や行財政の運営が、適法、適正、公平、効率的、民主的に執行されているか常にチェックを果たしていかなければなりません。当議会では、日常一般的役割の他に、行財政改革推進、まちづくり推進、庁舎建設の特別委員会を設置し、香美市の抱える課題に精力的

かつ多面的な活動を展開しております。

昨年十二月には、合併後初めての試みとして、香美市内四校の中学生による「子ども議会」を開催しました。それぞれの地域において、中学生が日ごろ感じていること、思っていることを、中学生の目線で、自分の言葉で、一般質問の形で執行部に質問が行われました。子ども達の目線から見た鋭く示唆に富んだ質問が展開され、緊張感と厳粛ななかでの「子ども議会」の体験は、議会への理解とともに、きつと有意義なものとして心に刻んでくれたものと思えます。

ゆるぎない香美市の建設と発展のため市民の皆様方の深いご理解とご指導をお願い申し上げます。この一年のご健勝とご多幸をお祈りし、年頭のご挨拶といたします。